

(別紙 6)

山口県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

現在、本県では認定鳥獣捕獲等事業者として、山口県猟友会と長州マタギが登録されており、事業従事者数は山口県猟友会が 577 名、長州マタギが 4 名となっている（令和 6 年度 9 月 30 日現在）。

また、本県では指定管理鳥獣捕獲等事業を認定鳥獣捕獲等事業者に毎年度委託しており、令和 5 年度は山口県猟友会に委託して捕獲を実施した。

今後は、シカの生息頭数の増大と生息域の拡大を防ぐため、捕獲を強化していく必要がある。そのため、認定鳥獣捕獲等事業者とその従事者のさらなる質の向上を図り、安全かつ効率的に組織的な捕獲を進めていきたい。

2 1 の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

新たな捕獲従事者の確保と現捕獲従事者の知識、技能向上のために、安全管理講習、知識技能講習、救急救命講習を開催した。

また、認定鳥獣捕獲等事業従事者の捕獲技術向上のため、射撃技能研さん研修、銃器によるシカ捕獲技術向上研修、わなによる捕獲技術向上研修を実施した。

それぞれの講習会の参加人数と内容は以下の表の通りである。

講 習 名	参加人数	内 容
安全管理講習	対面 73 名	環境省の「認定鳥獣捕獲等事業者講習テキスト」等を使用し、安全管理に関する法令等を学習。（一部受講者は自宅学習）
知識技能講習	自宅学習 515 名	環境省の「認定鳥獣捕獲等事業者講習テキスト」等を使用し、鳥獣の保護又は管理に関する法令等について学習。（一部受講者は自宅学習）
救急救命講習	61 名	心肺蘇生法、止血法等を学習。
射撃技能研鑽研修	328 名	射撃場での射撃訓練を実施。
銃器によるシカ捕獲技術向上研修	80 名	巻き狩り等による実地研修を行い、安全な銃の取り扱いや、効率的な捕獲方法を学習。
わなによる捕獲技術向上研修	44 名	わなの構造説明、設置方法の実演。罠ごとの注意点等の指導。

注：実施した研修会等の内容及び参加人数等を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等

研修会を通じて捕獲従事者の捕獲技術等の向上を図ることができた。

下関市、長門市においては令和3年度までくくりわな架設制限区域であったため、くくりわなが十分に普及していない（指定管理鳥獣捕獲等事業はR3年度から当該地域でのくくりわなの使用を許可）。本研修では、くくりわなに特化した研修を下関市及び長門市において各1回以上実施するようにしているが、今後も、継続開催し技術等の普及に努め、より安全で効率的な捕獲が行えるようにしていきたい。

注：1の課題等も踏まえ、取組の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。